

総合学習支援を開催しました

(防災座学、バリアフリー体験、災害対策用機械見学)

中国技術事務所では、一般団体を対象に、中国技術事務所の事業を理解いただくことを目的として総合学習支援を行なっています。

今年度の総合学習支援第一弾として、岡山市社会福祉協議会上道支部の16名が、5月22日に防災に関する座学、バリアフリー施設及び器具を使った体験、災害対策用機械の見学を行いました。



【防災座学～災害の備え～】

近年の豪雨災害の紹介、TEC-FORCE活動の紹介を行いました。

また、インターネットで閲覧可能な岡山県総合防災情報システムを紹介し、津波浸水、土砂災害などに関する情報収集方法を紹介しました。

【バリアフリー体験】

視覚障がい者や車いす利用者が道路構造によってどのようなストレスを感じるのかを体験しました。

視覚障がい者疑似体験

アイマスクを使用して目隠し状態にし、視覚障がい者誘導ブロック形状の違い、ブロック敷設の有無での感じ方の違いなどが体験できます。

予めコースを説明してからスタートしましたが、不自由さや恐怖を感じつつ、五感を研ぎ澄ましながらの体験は、精神的にとっても大変だったようです。



車いす体験

普段はあまり気にすることのない歩車道の段差に苦戦し、スロープを上り続ける時の苦痛や下りる時の怖さなどを感じることができたようです。



<歩車道段差体験(左写真)> 横断歩道部をイメージした10種類のブロックを設置

<スロープ体験> 12%、10%、8%、6%のスロープを設置

<車の出入り口部での歩道体験> 車両出入り口部における横断勾配(歩道の横方向の傾き)の大きなすりつけを設置



テレビ取材を受けました



【災害対策用機械説明】

中国技術事務所が保有する災害対策用機械の使用目的、これまでに活動した実績など説明しました。

岡山市社会福祉協議会上道支部の方からのコメント

これまでバリアフリーを自分の身近に感じなかったのですが、こういう機会でも体験させていただいて、いい勉強をさせていただきました。